

計画素案からの修正内容について（案）

パブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ、次の(1)～(3)の内容を追記した。

- (1) 第2部第2章第3節（「情報提供・共有、リスクコミュニケーション」対応期）の末尾（37ページ）に下図を挿入した。

【市における新型コロナ対応を踏まえた留意点】

市では、新型コロナ対応で積み重ねた知見・経験を踏まえ、新型インフルエンザ等対策における情報提供・共有、リスクコミュニケーションに関しては、基本的人権を十分に尊重し、マスク着用やワクチン接種等の感染対策についても、未着用者や未接種者等への対応にも配慮しながら偏見や差別が生じないように留意して実施する。

- (2) 第2部第4章第2節（「ワクチン」初動期）の末尾（51ページ）に下図を挿入した。

【市における新型コロナ対応を踏まえた留意点】

市では、新型コロナ対応で積み重ねた知見・経験を踏まえ、新型インフルエンザ等対策におけるワクチン接種、特に集団接種の実施に際しては、以下の点に十分留意して実施する。

- ワクチン接種は、接種対象者が効果やリスク等を理解した上で、必要に応じて医師と相談しながら判断していただくよう周知する。
- 接種対象者が、接種するかどうかを適切に判断できるよう、ワクチンの有効性だけでなく、安全性や副反応のリスク、健康被害が生じた場合の救済制度等の必要な情報提供に努める。
- ワクチンの接種体制の構築にあたっては、市医師会やワクチンの卸売販売業者・配送業者と連携して、接種会場において医療従事者がワクチンの種類・使用方法・使用量・使用期限を十分に確認するよう手順を定めるなどし、接種事故や接種間違いの発生防止に努める。また、万が一、接種事故や接種間違いが発生した際は、被接種者の不安解消を最優先にし、健康状態の継続的な観察、抗体検査や再接種など必要な措置を適切に講じる。

- (3) 第2部第4章第3節（「ワクチン」対応期）の末尾（55ページ）に下図を挿入した。

【市における新型コロナ対応を踏まえた留意点】

市では、新型コロナ対応で積み重ねた知見・経験を踏まえ、新型インフルエンザ等対策におけるワクチンの接種について、対応期の膨大な業務量、混乱の中においても、以下の点に十分留意して実施する。

- 国内におけるワクチンの接種開始以降も継続して、ワクチンの有効性及び、安全性、副反応の報告事例等の情報を収集し、情報提供に努める。
- 接種後に不安を抱える者や健康被害が生じた者等からの相談・問合せ等に適切に対応し、必要な支援・救済制度への申請、相談機関等への案内に漏れなく繋げられるよう、携わる市職員の知識技術の習得・向上に努める。